

もうひとハナ、
咲かそ。



四国いち小さな町で起こった奇跡の実話

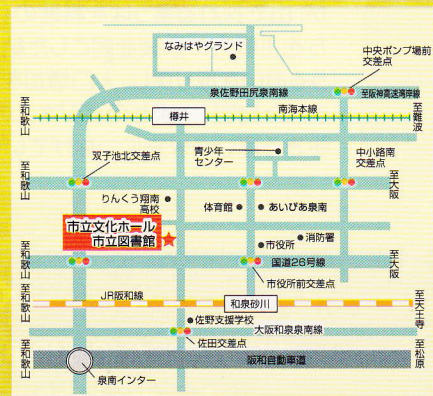
人生、いろいろ

とき 2014年6月8日(日)

開場/午後1時 開演/午後1時30分~4時

ところ 泉南市立文化ホール

- ◆定員/500名(申込不要・先着順)
- ◆参加費/無料
- ◆一時保育/対象は1歳から就学前まで、定員12名(応募多数の場合は抽選) 5月29日(木)までに人権推進課までお申込下さい。
- ◆その他/字幕・手話通訳・副音声あり
- ◆お問合せ/泉南市役所 人権推進課
TEL 072-480-2855 FAX 072-482-0075
E-mail: jinken@city.sennan.lg.jp



毎日が、色づき始める —

町の危機に立ち上がれ! 女性たちの活躍と友情を描く心温まる感動の実話

日本国憲法の理念の一つである基本的人権の尊重について改めて考え、女性と男性がともに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮することができる社会づくりのために、憲法週間&男女共同参画週間「市民の集い」を開催します。

今回上映する映画『人生、いろどり』は、長い人生の中で一度も主役になったことがない3人の女性たちが、料理の脇役である（つまもの）との出会いを通じて、もう一花咲かせようと前向きに生きていくイキイキと輝き出す姿は、何歳になっても夢は追いかけられる、人生に遅すぎることはない、と観る者に優しく語りかけてくれます。

当たり前の毎日が、“葉っぱ”との出会いで色付き出す!

ストーリー

ミカン産業が全滅し活気をなくした町で、若き農協職員の江田(平岡祐太)は、葉っぱを売ろうと思いつく。町中から猛反対されるも、面白半分で賛同した花恵(富司純子)と、花恵の誘いを断れなかった薫(吉行和子)は、家族に知られないようにこっそりと葉っぱ作りに参加する。しかし、出荷した葉っぱは市場でゴミ扱い。落ち込む薫たちに、助言をしたのが花木農家の娘で都会から帰ってきた路子(中尾ミエ)。ようやく少しずつ売れ始めたかに思えた矢先、薫のビニールハウスが炎上する…。

—2012年/日本/112分—



四国いち小さな町で起こった奇跡の実話

徳島県の山間にある上勝町。四国で最も人口が少なく、高齢化の進んだこの町は、希望という言葉とは無縁の典型的な過疎地だった。しかし、あるとき奇跡が起こる。ひとりの農協職員が、山で採れる葉っぱを料理の(つまもの)として販売することを発案。70代、80代の女性たちを主戦力に事業を起こした結果、年商2億円以上を稼ぎ出すビッグビジネスに成長。町はうるおいを取り戻し、人口増加を記録するまでに変貌を遂げたのだ。本作は、その実話から生まれた物語。つまものビジネスの立ち上げに関わった女性たちが、自分を変え、町を蘇らせ、生きる喜びを未来につなげていく姿を、オール上勝町ロケで描いた心温まる感動作だ。



◆◆◆特設人権相談を開催します◆◆◆

市民の身近な相談相手として、法務大臣から委嘱された人権擁護委員が相談をお受けします。

と き：5月7日(水)・8日(木) 午後2時~4時

ところ：泉南市役所本庁1階 市民相談室 問合せ：人権推進課 ☎480-2855